

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>

**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の施工業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 指定基礎寸法は必ず守ってください。
- 前もって設置場所の確認を行なってください。給湯機、暖房器などの排気熱が製品に直接当たらないように600mm以上離して施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
- 梱包明細書で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- ガラスブロックは、日本電気硝子(株)製 145mm×145mm×95mmに対応しています。その他の市販のガラスブロックは使用できません。

**補足**

- 製品の施工には8番のスパナまたは、ラチェットを使用します。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・ 作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ・ 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・ 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・ 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・ 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・ 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

<基礎工事について>

⚠ 注意

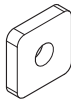
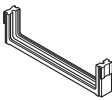
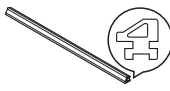
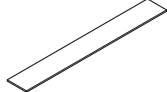
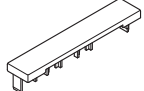






- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

■ 梱包明細書

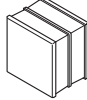
【1】 枠材セット

名 称	略 図	員 数
単独用支柱		1
サイド支柱A		1
サイド支柱B		1
下部横枠		1
中間用横枠		10
連結用横枠		4
上部カバー		1
連結金具A		1
連結金具B		8
上部カバー固定金具		2

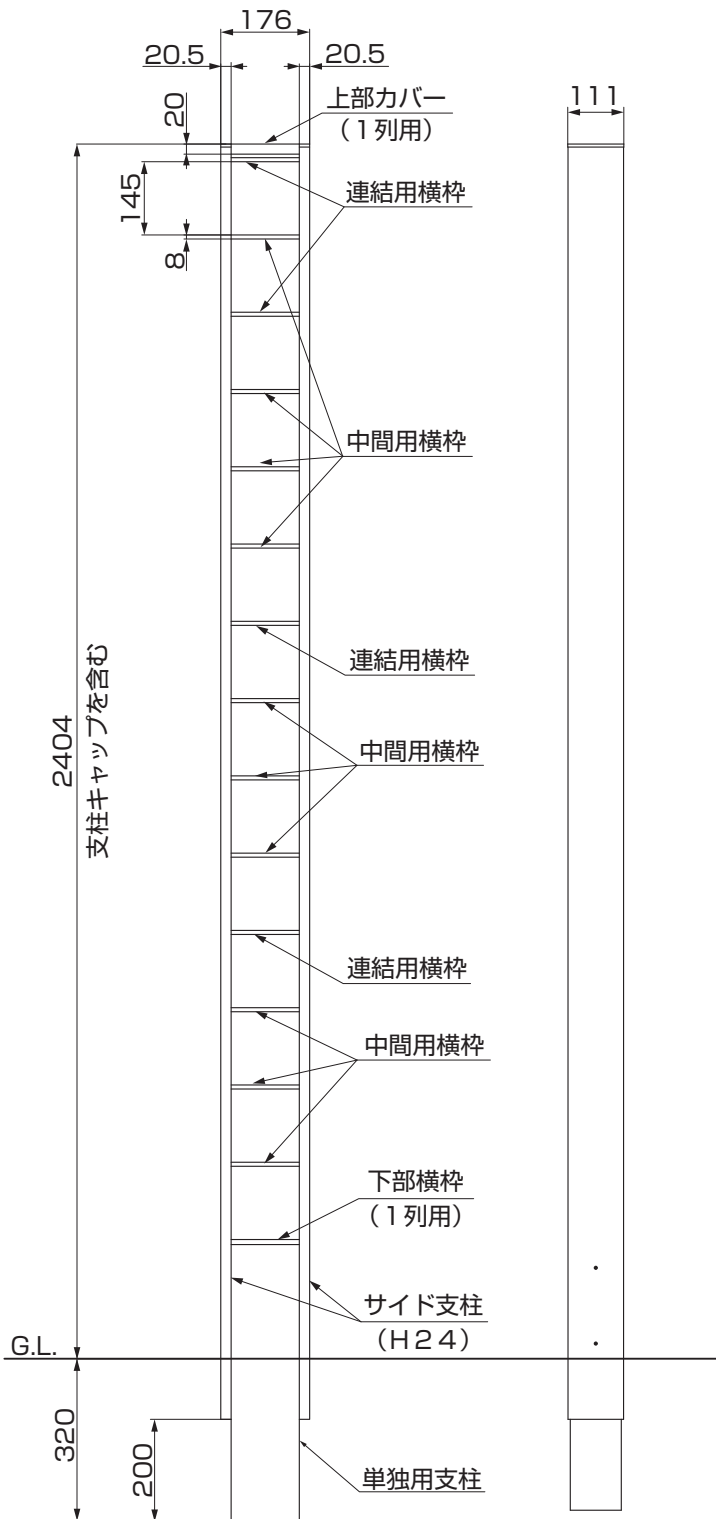
【1】 枠材セット(つづき)

名 称	略 図	員 数
連結金具取付裏板		20
ブロックスペーサー		20
サイドスペーサー		4
クッション材		4
支柱キャップ		2
【1-1】 φ4×16 特サラ タッピンネジ3種 (D=6)		4
【1-2】 M5×10 十字穴付 六角ボルト (SW)		20
【1-3】 φ4×15 特サラ タッピンネジ2種 (D=6、G=3)		16
【1-4】 φ4×8 トラス タッピンネジ3種 (D=8)		4
【1-5】 φ4×10 トラス タッピンネジ2種 (D=8)		4
【1-6】 φ4×13 ナベ ドリルネジ (D=8)		4
取付説明書 <C385>	—	1

【2】 ガラスブロックセット

名 称	略 図	員 数	
		1個入り	8個入り
ガラスブロック		1	8

1. 基本寸法と各部の名称



2. 基礎工事・サイド支柱の取付け

2-1 サイド支柱の組立て

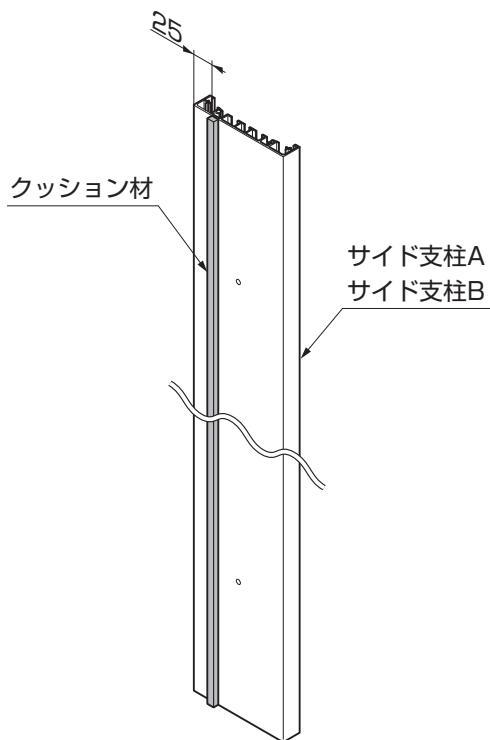


図2-1

- ①クッション材をサイド支柱A・Bの図の位置に貼付けてください。
(図2-1参照)

補足

- GBウォールを端部に施工する際は隣接する側のサイド支柱Aだけに貼付けてください。

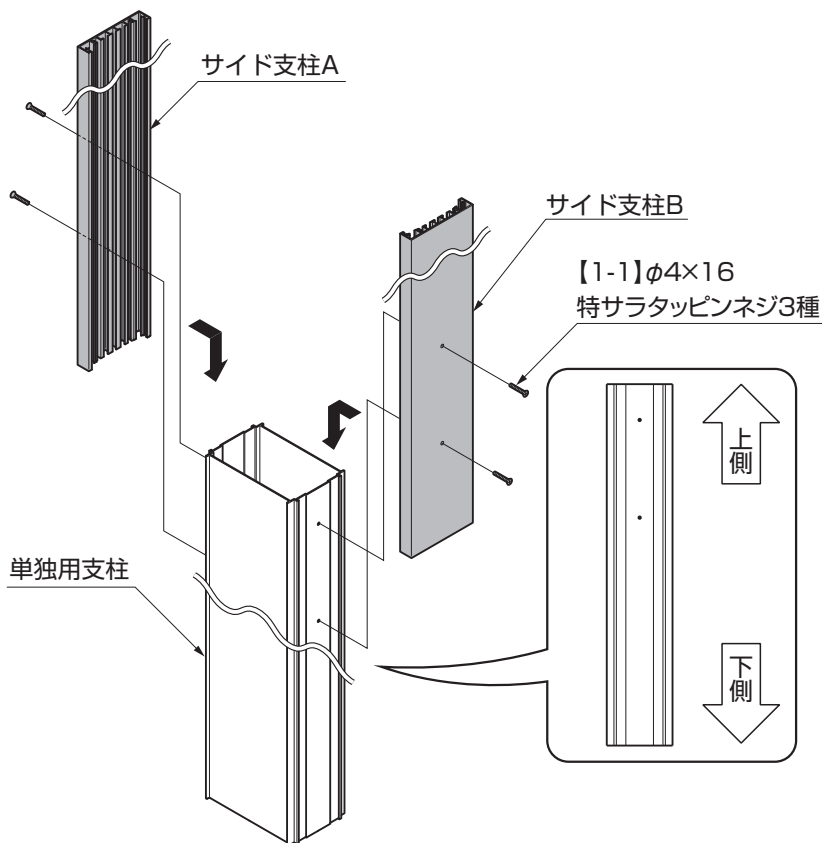


図2-2

- ②サイド支柱を単独用支柱にスライドして取付け、【1-1】で固定してください。

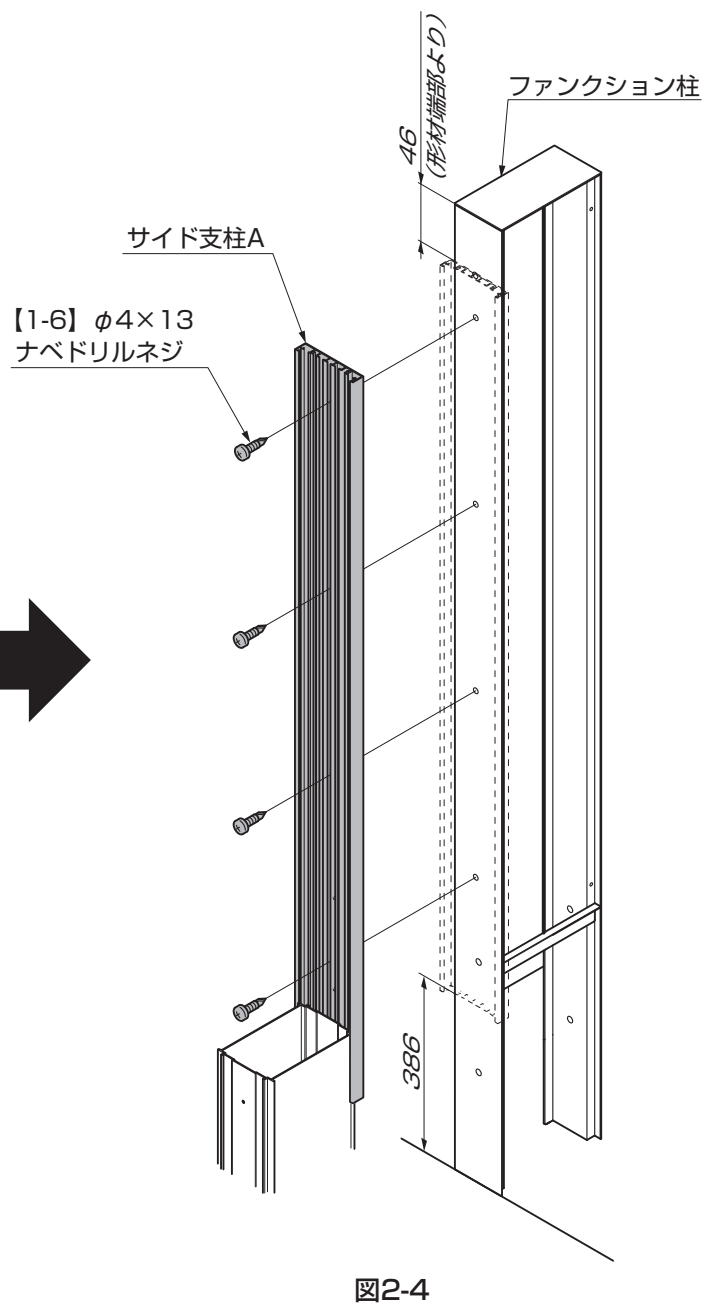
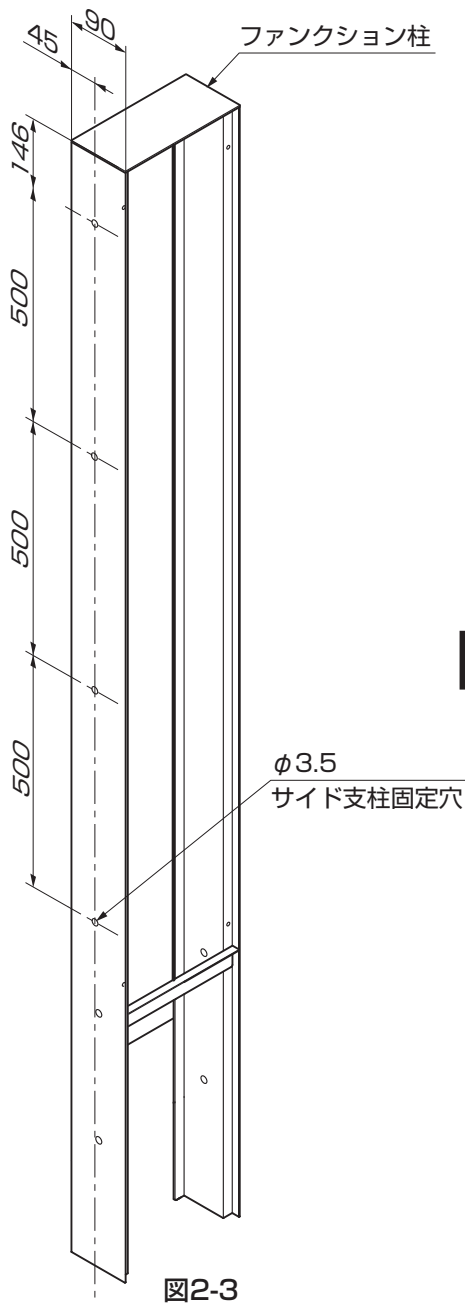
補足

- GBウォールを端部に施工する際は隣接する側にサイド支柱Aを取付けてください。

2. (つづき)

2-2 サイド支柱の隣接柱への取付け

※図はファンクション柱に併設する場合を示します。



①サイド支柱を固定する柱に、図の位置でφ3.5の穴をあけてください。(図2-3参照)

🔑ポイント

- 他の柱の場合も端部より45mmの位置で穴を加工してください。

②サイド支柱Aを柱に【1-6】で固定してください。

🔑ポイント

- 他の柱の場合も形材上部より46mmの位置であわせてください。
- 施工の際は、140mm以下の短軸ドライバーを使用してください。

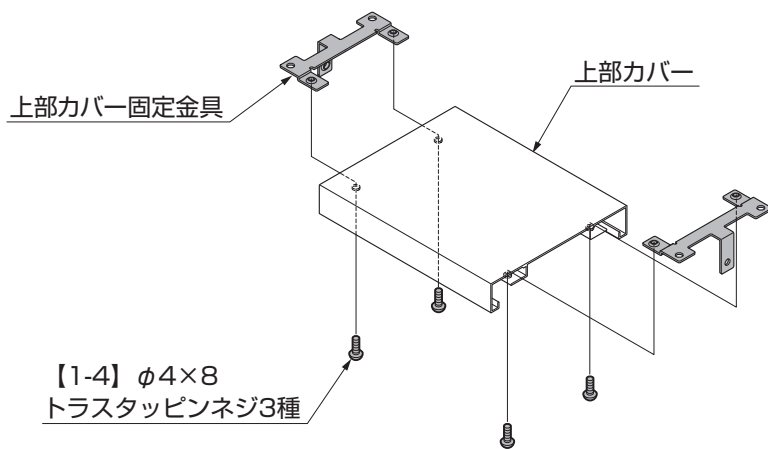


図2-5

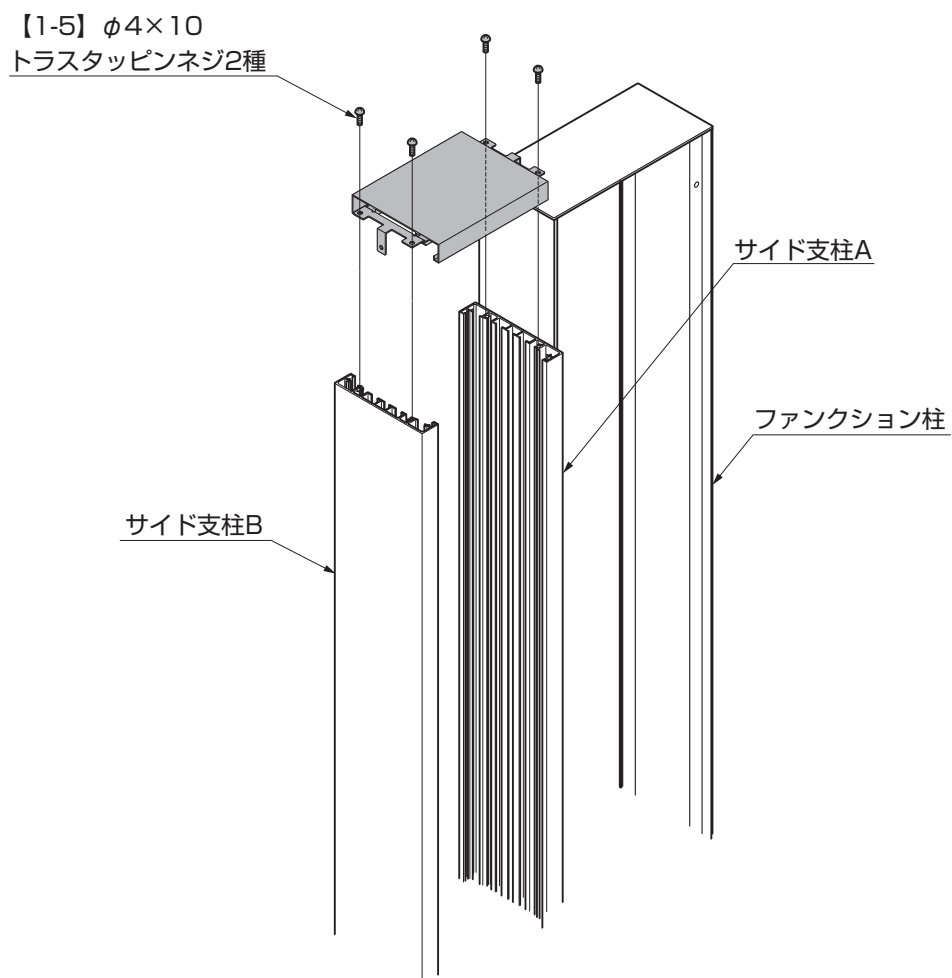
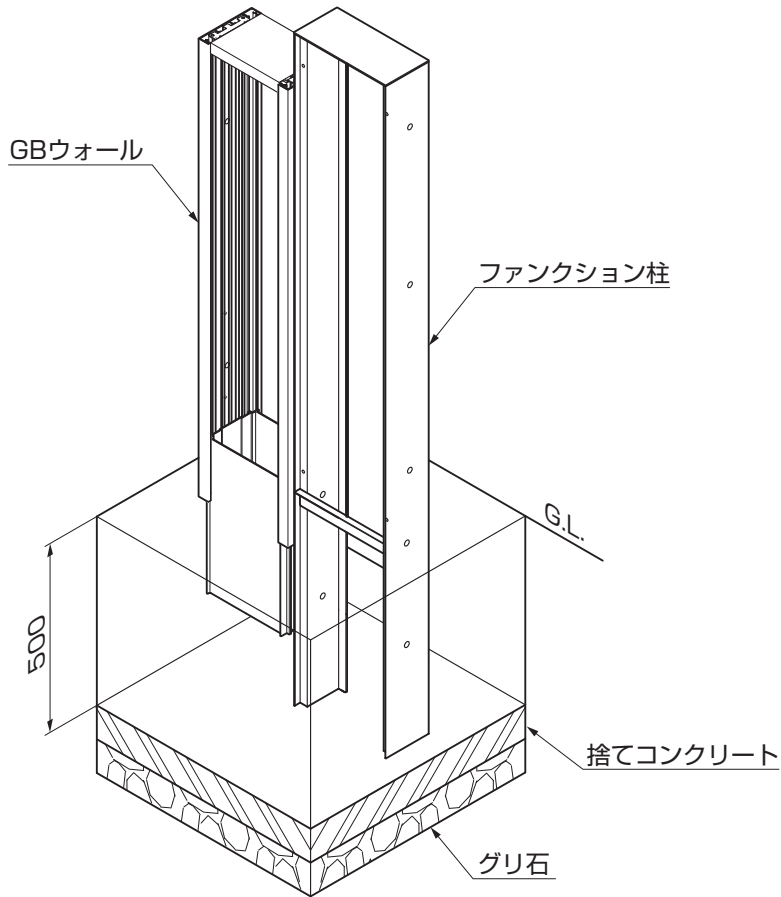


図2-6

③上部カバーに上部カバー取付金具を【1-4】で固定し、サイド支柱A・Bに【1-5】で仮止めしてください。

2. (つづき)

2-3 基礎工事



①隣接する柱側のG.L.ラインまでモルタルで埋めてください。

補足

●詳細の基礎寸法は取付ける柱側の取付説明書を参照してください。

メモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

3. 本体の取付け

3-1 サイドスペーサーの取付け

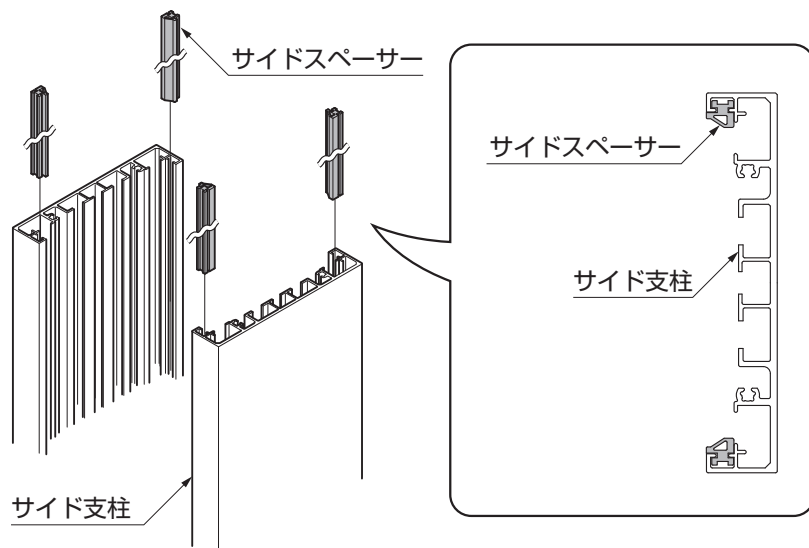


図3-1

- ① サイドスペーサーをサイド支柱にスライドして取付けてください。

3-2 下部横枠の取付け

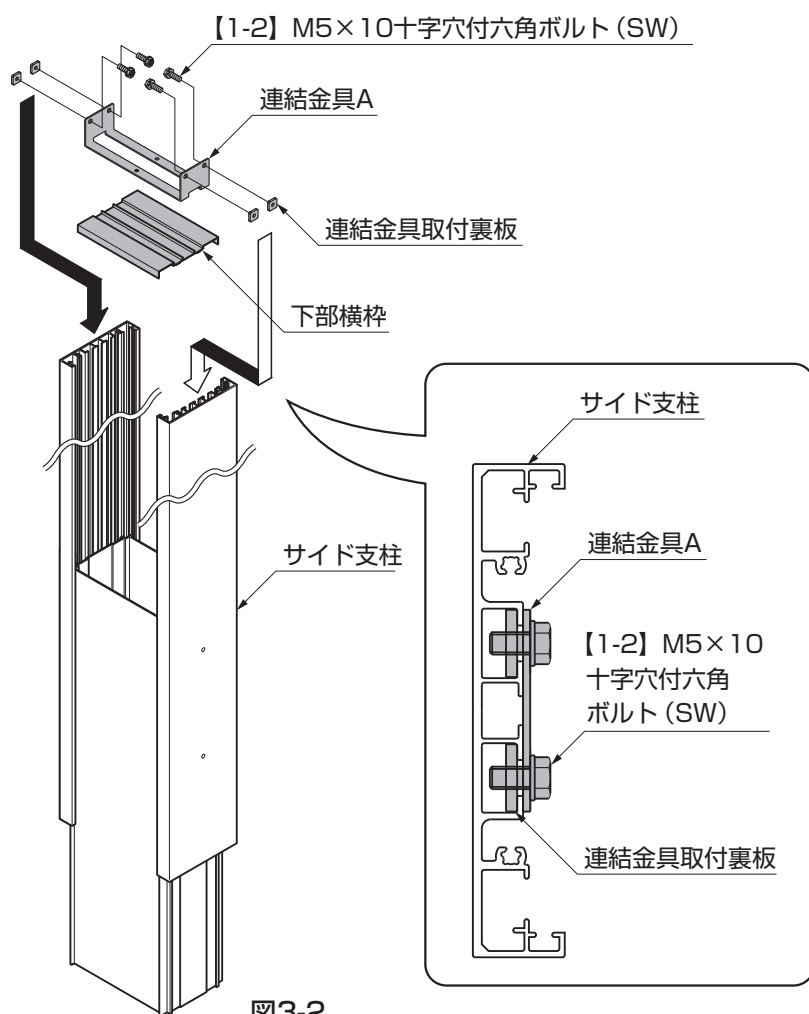


図3-2

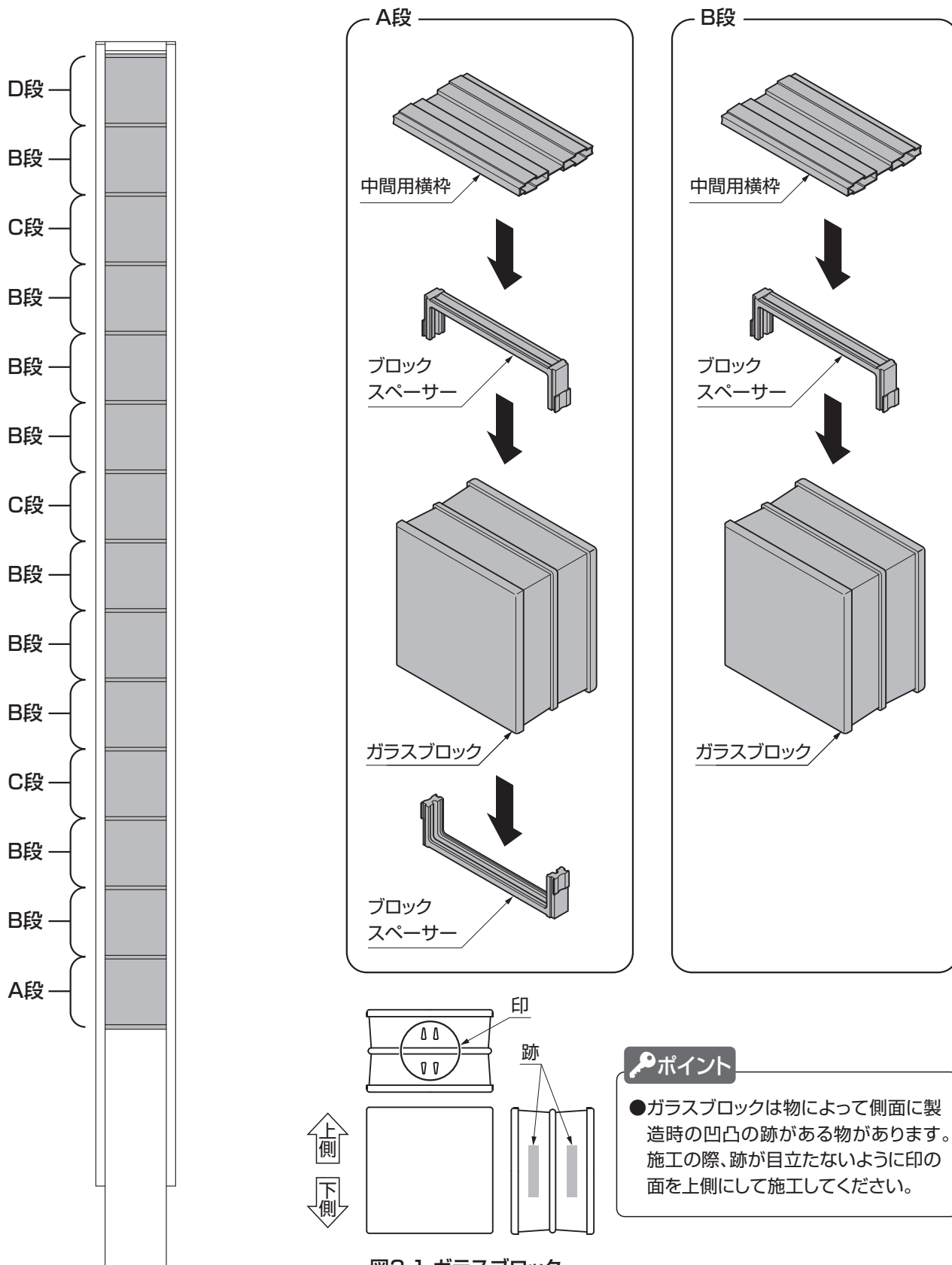
- ① 下部横枠を単独用支柱に置き、連結金具Aと裏板とサイド支柱を【1-2】で固定してください。

補足

- 8番のラチェット (M5用) を使用すると施工がスムーズに行なえます。

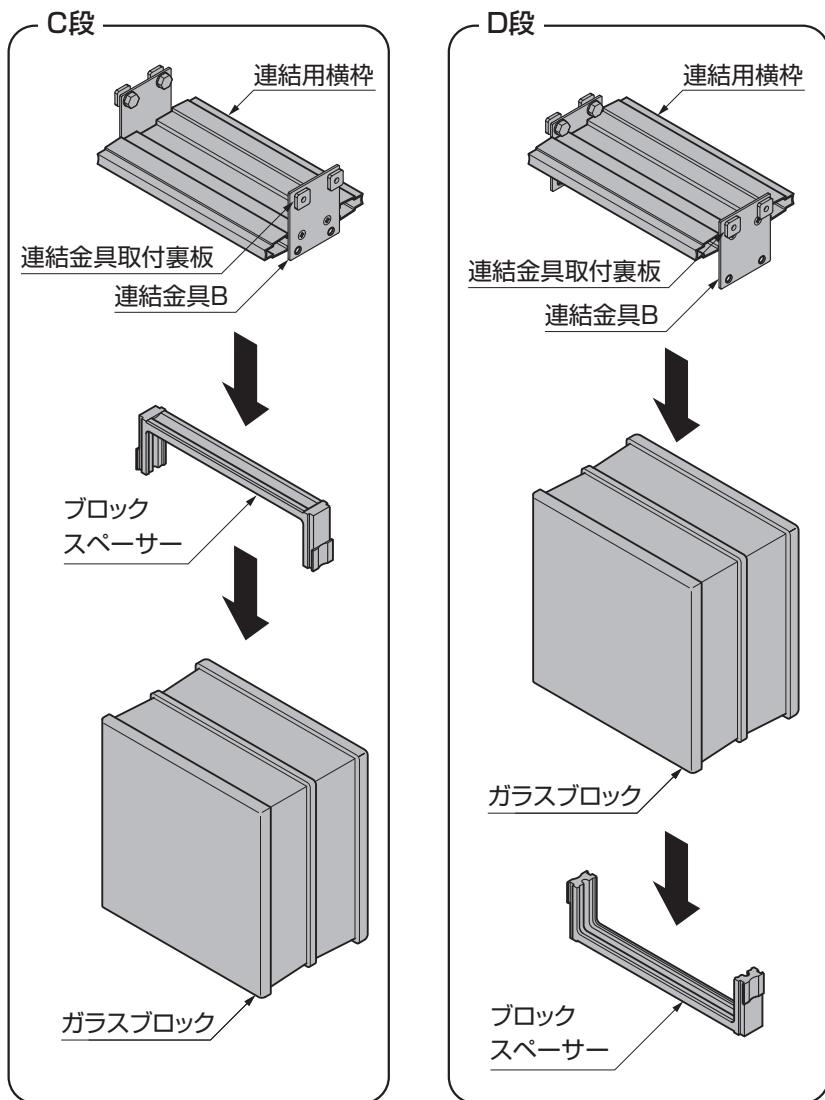
3. 本体の取付け (つづき)

3-3 ガラスブロックの取付け



ポイント

●ガラスブロックは物によって側面に製造時の凹凸の跡がある物があります。施工の際、跡が目立たないように印の面を上側にして施工してください。



注意

●横枓の中心部の溝・ガラスブロックの中心の凸にしっかりブロックスペーサーをはめこんでください。ガラスブロックがはずれるおそれがあります。

ポイント

●ブロックスペーサーはガラスブロックの中心に挟み込み両端部を押込むように取付けてください。

①図に従い、取付けてください。C段とD段は連結用横枓と連結金具Bの向きを確認し【1-3】で固定してください。(図3-2参照)
金具取付裏板を連結金具Bに【1-2】で仮止めしたあと、金具取付裏板をサイド支柱の溝に合わせスライドし、連結金具Bとサイド支柱を【1-2】で固定してください。

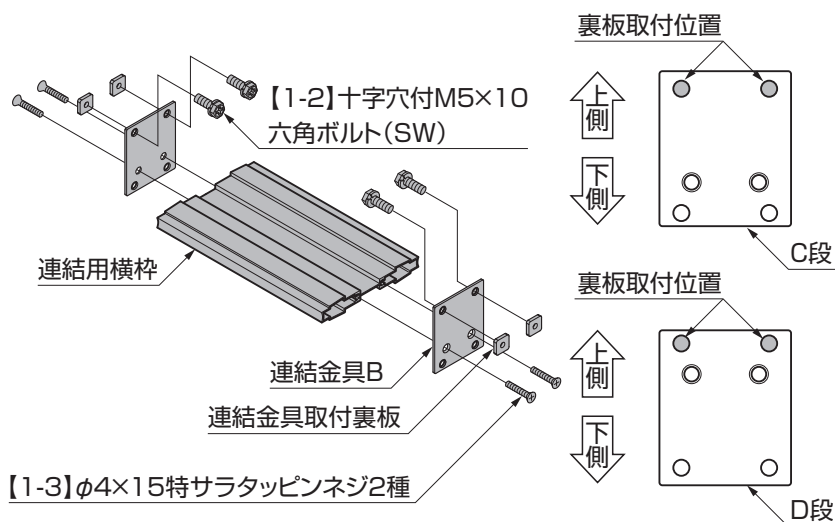
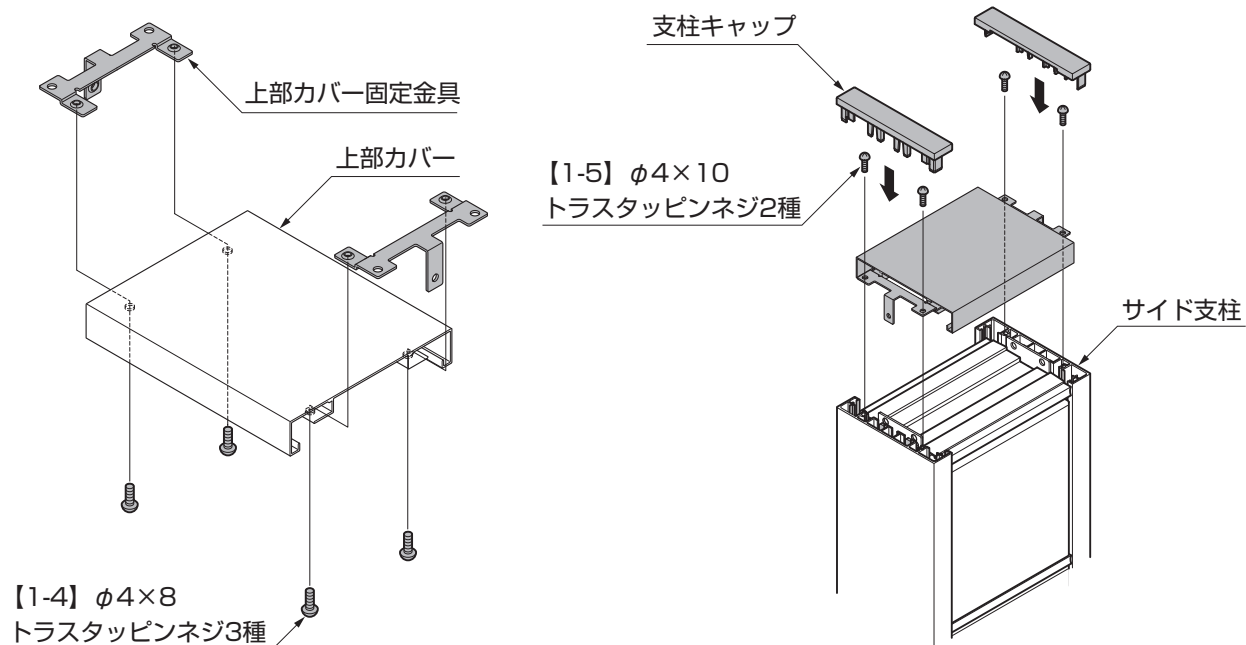


図3-2 C段・D段裏板取付詳細 ※図はC段の場合です。

4. 上部カバー・支柱キャップの取付け



- ①上部カバーに上部カバー固定金具を【1-4】で固定し、サイド支柱に【1-5】で固定してください。
- ②支柱キャップをサイド支柱にはめ込んでください。

メモ

取説コード

C385

JZZ616428C
200804A_1039
201607D_1049